*プロジェクト5

痴呆性高齢者のケアの拡充

基本方針

今後も増加が見込まれる痴呆性高齢者について、その在宅介護を支援するケアマネジメントシステムを一層強化するとともに、施設整備においては痴呆性高齢者の特性に合わせたサービスを提供するためグループホームを新たに区内に整備する。

具体的方策

１．痴呆専門チームによるケアマネジメントの強化

痴呆性高齢者に対するケアマネジメントの強化のため、専門医、保健師、ケースワーカー等で構成する専門チームによる、ケアマネジャーへの助言・指導等の支援活動を充実する。また、身近に世話をする家族がいない痴呆性高齢者については、権利擁護サービスの利用へつなぐなど品川成年後見センターと連携を図っていく。

＊権利擁護サービス　⇒プロジェクト７　参照

２．痴呆性デイサービスの拡充

○既存の 8 つの在宅サービスセンターにおける、痴呆性高齢者のデイサービスの改善・向上に取り組む。

○その中でも、落ち着いた雰囲気で痴呆症状の改善や軽減を図る「グループホームケア」の手法を取り入れた痴呆性デイサービスを行っている「小山の家」などでは、専門医との連携のもとに、地域のボランティアの参加を得て運営している。

●小山の家　　平成１０年４月開設
定員１０人／日

●月見橋の家　　平成１３年４月開設
定員２０人／日

○大崎第１地区で、新たに痴呆性デイサービス（併設型）を開始する。

●西五反田在宅サービスセンター　　平成１６年４月開設（予定）
定員１０人／日（一般２５人／日に併設）

３．「グループホーム」の整備

少人数の痴呆性高齢者が、家庭的な環境の中で、落ち着いた共同生活を送る施設であるグループホームを、平成 16 年 4 月開設予定の西五反田高齢者複合施設をはじめとして区内に整備する。

（１）ケアホーム西五反田（平成１６年４月開設予定）

「特定施設入所者生活介護」であるが、グループホームと同様のケアを行う。

（２）春光福祉会によるグループホーム（平成１７年度開設予定）

特別養護老人ホーム「ロイヤルサニー」に隣接してグループホームを整備する。

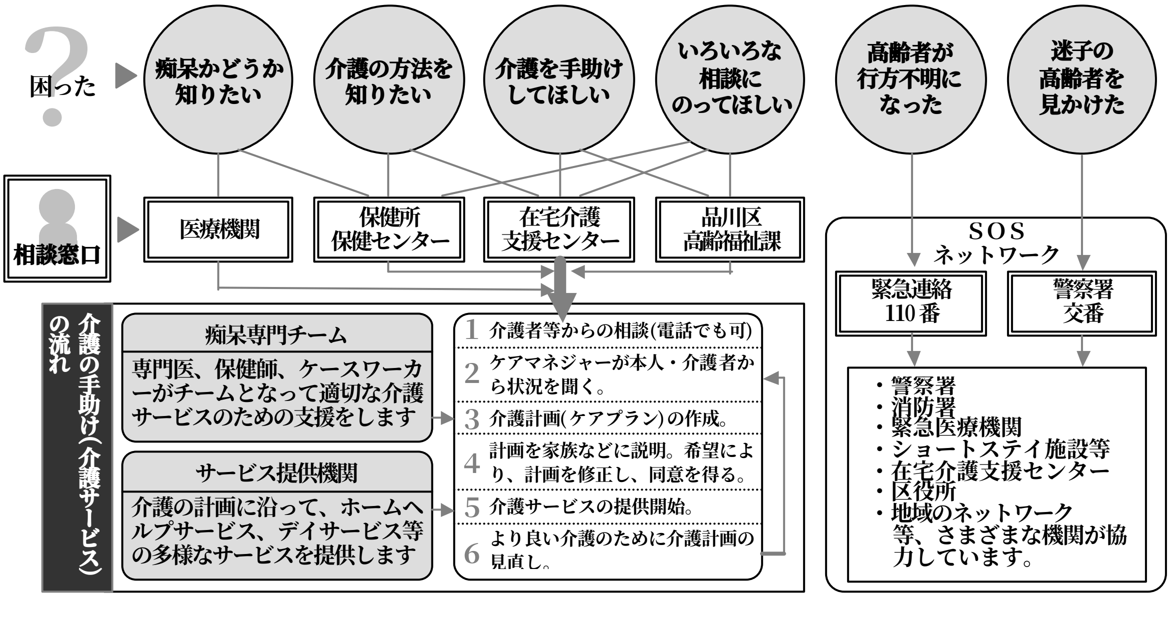
（３）地元民間事業者によるグループホーム

地元訪問介護事業者によるグループホーム整備に対し、助成を行う。

４．徘徊高齢者ＳＯＳネットワークづくり

徘徊高齢者の発見システム（PHS を使った徘徊探索システム）を活用するとともに、地域の警察、消防、施設職員や区民の協力のもとに徘徊高齢者を早期に保護するネットワークをさらに充実させていく。

５．痴呆性高齢者ケアの調査研究

今後の痴呆性高齢者ケアのあるべき姿を検討するため、実践的な調査研究活動を行う。その結果を、ケアを担うサービススタッフの育成、ひいては、サービスの質の向上に活かしていく。

痴呆性高齢者についての相談からサービス提供の流れ